

松 総 政 号  
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

松前町長 前 田 一 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号をもってご依頼のありましたこのことについて、別添のとおり提出を提出致しますので、よろしくお取り計らい願います。

総務課 政策推進グループ 主幹 宮 島

TEL:0139-42-2275(内 278) FAX:0139-46-2048

E-mail:takeshi.miyajima@town.matsumae.hokkaido.jp

### 1 道路財源の安定確保について

道路は、国民生活の向上、経済社会の発展にとって欠くことのできない最も基本的な社会資本であります。

物流促進、観光振興、他市町村との交流・情報交換及び連携強化、高次医療施設へのアクセスなど、道路整備が地域経済に与える影響は、図り知れません。特に本道経済における克雪対策は、すこぶる重要であり、その要は道路にあるといえます。また、渡島西部松前町における地域高規格道路「松前半島道路」の早期整備は、道南一帯の地域経済の発展、まちづくりの推進に必要不可欠であります。地域の成長力と基盤強化の為にも、道路財源の安定確保について強く要望致します。

### 2 ネットワークの戦略的整備について

地域高規格道路松前半島道路に関しては着手に至っていない状況です。このように南北海道は未供用の区間や未着手の区間が多く残されているため、地方部における地域の産業、経済、観光、地域の安全・安心を支える基礎的な社会基盤である高規格幹線道路や地域高規格道路による道路ネットワークの一日も早い整備が必要不可欠です。

### 3 道路整備に係る事業評価手法の見直し

現在の北海道における高速道路網の整備は他府県と比して大幅に遅れておりますが、国道等の整備については、費用対効果による事業の採択基準として、交通量の数値が算定基準になっております。

北海道地区は、除雪や防雪問題をはじめ、食糧基地としての位置づけなどもあることから、他の都道府県と違った地域の特異性があります。このようなことから、地域性を考慮した事業評価手法の見直しを図る必要があります。

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道 松前町

○現状

1. 国から町に移管された旧国道の橋梁部分の老朽化
2. カーブが多い一般国道 228 号
3. 防災対策と高度医療対応

○課題

老朽化した橋梁の新設等には、膨大な予算が必要であり、早急な対応が出来ない。しかし、常に利用する道路として維持する必要もあることから、維持管理に苦慮している。

松前町を通過する一般国道 228 号は、海岸線に沿って 45 km の延長があるが、カーブが多く、特に路面状況が悪化する冬期間における交通安全上の改善が望まれている。

海岸線を通る一般国道 228 号は台風や低気圧による越波や高潮の影響を受けやすい状況にあり、地形的には急峻な崖や斜面の近傍を通過せざるを得ない区間もあります。また、通行者の安全を確保するために雨量などにより通行規制される区間も残されています。

町の主要産業である漁業による水産物を運ぶための物流や日常生活物資の物流において、幹線道路である国道 228 号が唯一の流通路であり、さらに日常的な通院や急な発病による緊急的な搬送においても国道 228 号に頼っている状況から災害発生時の通行止めとなる厳しい環境下の改善が望まれている。

北海道は、広大な土地を有していることから、ドライブ観光が圧倒的に多く、観光者が快適で安全に道路を通行することが観光の大前提となります。また、観光地周辺では集中的に交通需要や駐車場の需要が発生するため、渋滞、混雑が発生し、観光地の環境にも影響を与えることとなります。道路が観光に果たす役割は大変大きいいため、観光を支援するための安全な交通の確保や渋滞、混雑を緩和するためのハード整備、適切な情報提供などが重要です。

また、西渡島、南檜山の9町を通る国道や道道などの幹線道路をルートとする「どうなん・追分シーニックバイウェイルート」がシーニックバイウェイ北海道推進協議会からルート指定の前段階の候補ルートに指定されました。このような取り組みは地域相互と行政が連携しつつ、地域の活性化に結びつくため、道南周辺を連携する新たなルートの開発は、広域的な観光や地域づくりに必要不可欠です。

道路事業は、無駄な広い道路が作られているのではないか、などの批判が一部にあります。北海道は冬期間豪雪に見舞われる地域であって、道路は雪との戦いであるとともに、日常生活の安全、安心の確保にどれだけの苦勞をしているかを、中央や都市部の方々に真に実態を知っていただきたい。また、一層の克雪対策を進めることこそが、本道経済の発展に繋がるものと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道 松前町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	地域高規格道路「松前半島道路」の整備	<p>地域高規格道路による道路ネットワークの整備により、地方部における地域の産業、経済、観光、地域の安全・安心を支える基礎的な社会基盤が出来上がる。</p>	
災害に強い国土づくり	災害に強い「国道228号」の整備	<p>台風、大型低気圧、地震などによる越波、高潮、構造物の破壊、落石、雪崩などによる被害や、発生後の産業経済、地域社会への影響を最小限に止めることが出来る。</p>	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	道路の除雪及び防雪	<p>冬期間は、道路の凍結や圧雪により、スリップの危険が高まり、夏に比べて車のスピードも著しく低下します。冬期間の交通事故対策として、適切な除雪、凍結防止によるスリップの抑制を図り、もって交通安全に資することが出来る。</p>	
ICT による社会資本の高度化	情報ボックスの無料貸付	<p>地域公共ネットワーク等の整備事業は、過疎地・半島地域への資本注入への限界や市町村の補助残への対応が財政的に非常に厳しいところです。</p> <p>道内を網羅している開発建設部所有の光ファイバー網の市町村への無償貸付により、市町村における事業費の大幅な圧縮が図られ、もって国・道の補助金等にも大きな支出の抑制が図れる。</p>	